

本社登山隊ルポ

夏山踏破鳥海

本県と秋田県の県境にそびえる鳥海山(2236m)を踏破する山形新聞の登山パーティ。7月29日、酒田市の湯ノ台口を出発し、山肌を彩るかわいい高山植物や豊富な雪をたたえる心字雪(しんじゆき)の涼感を楽しんだ。台風

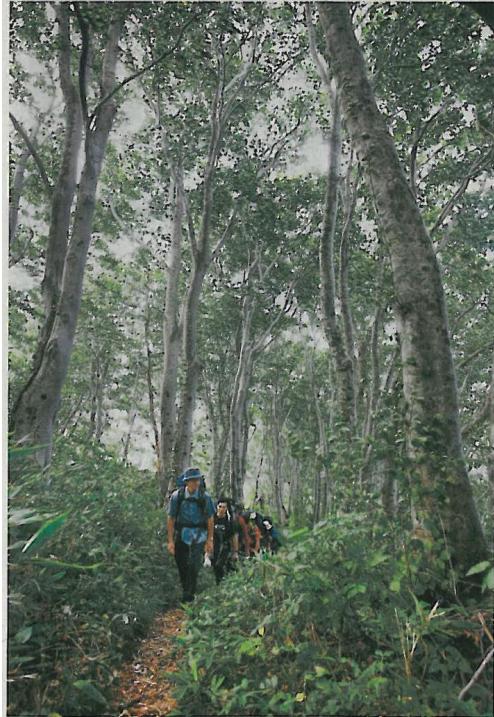
12号の影響で強風が吹き荒れたことから、伏押岳を目指す当初の行程を変更。心字雪で引き返し、山域の東側にある同市の鶴間池小屋に泊まった。

||1面に関連記事

雲間に絶景花々歓迎

湯ノ台口—心字雪—鶴間池小屋

霞間からは時折、日本海や庄内平野を望むことができた——遊佐町



強風が吹く中、河原宿小屋付近ではハクサンシャジンやイワテトウキなどが咲き誇っていた

一行は30日、名瀑(めいばく)として知られる一ノ滝などを巡り鳥海湖を望む御浜小屋に向かう。(鳥海山企画取材班=報道部・木村敏郎・小林達也・斎藤健太)

ブナ林が広がる尾根筋を歩く一行



本紙パーティが鳥海山に挑むのは11年ぶり。ガイドを務めるのは東北山岳ガイド協会員で小国山岳会員の吉田岳(たかし)さん(49)。小国町。食料や衛星携帯電話など機材の運搬を担うのはいずれも山形大ワンダーフォード部の浅野大樹さん(23)。同大学院1年大滝涼さん(24)。同大4年久次米晃輔さん(21)。同 大井川道崇さん(21)。同。

湯ノ台口から入山した一行は、まずははうつそうとした樹林帯が続く单调な登りにたっぷりと汗をかかされた。鳳来山(850m)以北は豊かなブナ林が広がり、木々の間から吹く涼風が心地良い。ただ、植物の背丈が低くなる河原宿小屋周辺の尾根筋では体があおられると、むつとする暑さ。管理人の瀬川昭さん(73)は、「きょうになつて沢の水量が急に増えた。今年は雪が多かった上、最近の暑さで雪渓が解けたのがよ」。小屋の上部にある「白糸」滝はいつも繊細な流れではなく、激しいしぶきを上げる濁流となっていた。

一行は30日、名瀑(めいばく)として知られる一ノ滝などを巡り鳥海湖を望む御浜小屋に向かう。(鳥海山企画取材班=報道部・木村敏郎・小林達也・斎藤健太)

